



社会福祉法人 恩賜財団

4月号

愛知県同胞援護会だより

特別養護老人ホーム春緑苑 第201号
特別養護老人ホームとよた苑 第118号
身体障害者援護施設春日苑 第184号

知的障害者更生施設サンホーム豊田 第71号
養護老人ホーム若草苑 第25号
平成17年4月15日発行



観桜会で賑わう春緑苑 (H.17.4.8)

目次

法人事務局	P.2~5	若草苑	P.17
春緑苑	P.6~10	サンホーム豊田・野見デイサービス	P.18
春日苑	P.11~12	春日井・とよたグループ	P.19~20
とよた苑・東山デイサービス	P.13~16		

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL 0568-88-8302 FAX 0568-88-0306
URL <http://www.mc.ccnw.ne.jp/aichi-douen/>
e-mail: douen@mc.ccnw.ne.jp

法人事務局

九十八名に辞令交付

四月一日(金)、春緑苑地域交流センターにて、平成十七年度の職員辞令交付式を行いました。本年度は、昇格者十四名、新設要員、新任管理者を含む新規採用者六十名、配置替えによる異動者二十四名の計九十八名に辞令が交付されました。

交付後の役員あいさつでは、倉知会長から「恩賜財団」という誇りを持ち、心のこもった仕事に努めてください。」などの言葉をいただき、また、田中専務理事からは、言葉づかい、健康管理、記録の重要性など、特に新人に向けた実践的な話とともに、激励の言葉をいただきました。



誇りをもち、仕事に励みます！

新規採用者実務研修

三月二日(水)～三十一日(木)にかけて、五十四名の新規採用予定者が採用前実務研修を受けました。各職域の現場指導者を中心とした講師による講義・演習により基本を学習し、配属予定での十日間の現場実務研修で、実践的な技術を学び理解を深めました。以下、研修参加者の感想です。

研修を終えて

特別養護老人ホーム春緑苑

介護士 武田 美穂

研修を経て、私は「経営者としての意識の重要性」と、「一人の生活を支える責任の大きさ」を感じました。前者ですが、福祉において理念だけでは限界があります。サービスの充実や利用者の満足のために

も、経営的視点は大きい重要な要素であると学ばせて頂きました。また、後者ですが、施設はい



入浴介護の基本を学ぶ

名南経営 水谷講師をモカエテの接遇マナー研修



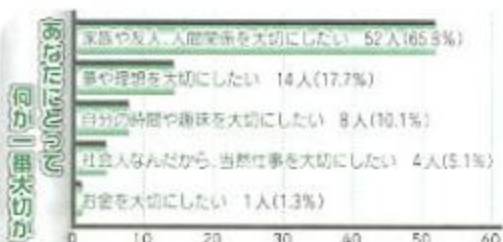
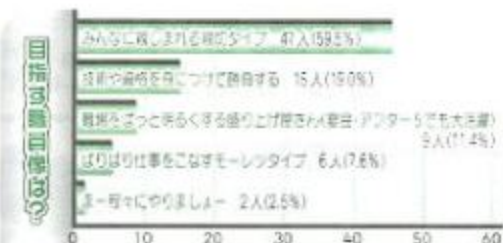
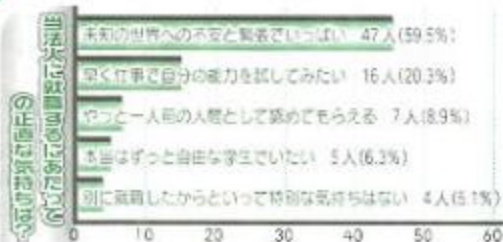
わば「家」です。利用者様が幸せに生活できることが第一です。しかし、その「幸せな生活」は、愛情に加え、命を預かっているという責任の自覚と、適切な知識・対応体制があってこそ支えられる、成り立つのだと学ばせて頂きました。

少し余談になるかもしれませんが、私は人の役に立っている仕事にしたいと思ひ、介護士を志しました。しかし、その自分の考えは、「一人の役に立っている」という実感ができ、直接的に感謝してもらえない仕事にしたい。」という単なる自己満足にすぎないのではないかと、思えて、自分の夢が揺らいでしまった時、正直ありました。それでも、自分を信じ周りの環境に支えられた結果、春緑苑の介護士とい

平成17年度新規採用者実務研修プログラム

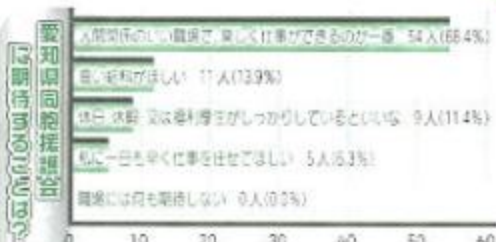
ステップ	実施日	研修名	概要
第1段階	3月2日	法人総論について	就業規則、防災規程、給与規程
	3月3日	法人の施設概要	各施設の概要(講義、見学)
	3月4日	実務の心得	利用者に対する基本姿勢、相談業務、介護業務、法人事務局業務
	3月7日	実務の知識	クアプラン、ヒヤリハットと事故、救急と蘇生法、衛生管理
第2段階	3月9日	介護の基本 実地研修1	入浴介護
	3月10日	介護の基本 実地研修2	排泄・移動介護
	3月11日	介護の基本 実地研修3	食事介護
第3段階	3月16日	服務の心得(一般常識)1	接遇マナー(講師:名南経営 水谷マミ氏)
	3月24日	服務の心得(一般常識)2	書類の書き方、収入と支出のしくみ、福祉QC活動
	3月31日	研修感想発表会	テーマ「研修を終えて」
第4段階	3月14日～3月30日	配属予定先にて実務業務研修	

う、スタートラインに立たせて頂くことができました。一か月の研修を終えた今、介護士として務めることに確信をもつことができ、気持ちに揺らぎはありません。自らの仕事に誇りと自信をもって、利用者の方が安心して生活できる、信頼される法人づくりの重要な一員となれるよう、全力で頑張ります。



★新任職員に聞きました!★

平成十七年三月三日実施 全七十九人
(平成十六年度中途採用職員含む)



新任、昇格、異動職員紹介

新任管理者 (四月一日付)



特別養護老人ホームとよた苑
施設長 山田 卓



特別養護老人ホーム春緑苑
副施設長 鈴木 敏彦

昇格職員 (四月一日付) (一)内は勤務地

総務課長

蝶澤美紀子

特別養護老人ホーム春緑苑
特別養護老人ホームとよた苑
特別養護老人ホームとよた苑
特別養護老人ホームとよた苑

相談課長

前田浩

(一)特別養護老人ホームとよた苑
(二)特別養護老人ホームとよた苑
(三)特別養護老人ホームとよた苑

介護課長

柏谷光代

(特別養護老人ホームとよた苑)

主任相談員

稲谷泰浩

(特別養護老人ホームとよた苑)

主任介護士

田中慎也

(特別養護老人ホームとよた苑)

副主任事務員

仙石雅己

(特別養護老人ホームとよた苑)

副主任相談員

奥村裕輔

(特別養護老人ホームとよた苑)

副主任看護師

橋本宜和

(特別養護老人ホームとよた苑)

副主任調理員

倉知孝行

(特別養護老人ホームとよた苑)

副主任介護士

井戸田三四子

(特別養護老人ホームとよた苑)

善家理恵

高見智美

(特別養護老人ホームとよた苑)

異動職員 (四月一日付) (一)内は勤務地

法人事務局

職員 員 信 (特別養護老人ホームとよた苑)

春緑苑短期入所施設

介護士 青山友子 (特別養護老人ホームとよた苑)

春緑苑在宅介護支援事業所

相談員 吉野スズナ (特別養護老人ホームとよた苑)

春緑苑訪問入浴サービス

介護士 織田泰明 (特別養護老人ホームとよた苑)

春緑苑デイサービスセンター

介護士 近藤麻由 (特別養護老人ホームとよた苑)

介護士 梶田直希 (特別養護老人ホームとよた苑)

介護士 岩田友子 (特別養護老人ホームとよた苑)

グループホーム春緑苑

介護士 大島一宏 (特別養護老人ホームとよた苑)

ホームヘルプサービス春緑苑

介護士 横塚美晴 (特別養護老人ホームとよた苑)

身体障害者福祉施設春緑苑

介護士 熊山典之 (特別養護老人ホームとよた苑)

相談員 石田由貴 (特別養護老人ホームとよた苑)

特別養護老人ホームとよた苑

看護師 田村多美代 (特別養護老人ホームとよた苑)

とよた苑在宅介護支援事業所

副主任相談員 加藤 晴 (特別養護老人ホームとよた苑)

とよた苑在宅介護支援事業所

相談員 武田洋平 (特別養護老人ホームとよた苑)

とよた苑在宅介護支援事業所

相談員 池野可也 (特別養護老人ホームとよた苑)

とよた苑デイサービスセンター

相談員 山口智子 (特別養護老人ホームとよた苑)

特別養護老人ホームとよた苑

相談員 本多麻由 (特別養護老人ホームとよた苑)

特別養護老人ホームとよた苑

相談員 林 幸久 (特別養護老人ホームとよた苑)

特別養護老人ホームとよた苑

事務員 水田由也 (特別養護老人ホームとよた苑)

新任職員(四月二日付)

- ① 生田 昌子
- ② 山本 愛子
- ③ 進 味
- ④ 松 倫

法人事務局

- 事務員 中村 安香子
 ① 昭和58年1月25日 ② A型
- ③ 読者
 ④ 特さんが週ごとしやすい環境作りを目指して頑張ります。

- 事務員 佐藤 圭一郎
 ① 昭和54年9月3日 ② A型
- ③ インターネット
 ④ 初めての世界で、右も左もわかりませんが、がんばります。

春日井グループ

※春緑苑は新設要員含む

特別養護老人ホーム春緑苑

- 事務員 犬飼 友子
 ① 昭和47年6月26日 ② A型
- ③ 介護、犬の散歩
 ④ 職員の特さんに和らされる事務員になれるよう頑張ります。

- 相談員 谷川 寛美
 ① 昭和57年9月17日 ② O型
- ③ 相談、散歩
 ④ 特さんから様々なことを吸収させていきたいと思います。

- 相談員 鈴木 尚徳
 ① 昭和57年7月18日 ② B型
- ③ 球技スポーツ
 ④ 元気いっぱい、利用者の方々に好まれる職員になります。

- 介護士 武田 美穂
 ① 昭和57年11月14日 ② O型
- ③ 掃除を極めること
 ④ 信頼され愛される介護士を目指し、笑顔と元気で頑張ります。

- 介護士 藤田 司
 ① 昭和54年7月31日 ② A型
- ③ 音楽鑑賞
 ④ 一日も早く仕事に慣れて、親しまれる職員になりたいです。

- 介護士 黒木 剛
 ① 昭和57年6月26日 ② B型
- ③ 音楽鑑賞、編曲
 ④ 職員、利用者皆で温かい施設作りをしていきたいです。

- 介護士 小松 秀行
 ① 昭和59年3月17日 ② A型
- ③ 野球、スノーボード
 ④ いつも笑顔で接して、利用者の方にも信頼されるよう努力します。

- 介護士 牧野 友美
 ① 昭和59年2月1日 ② A型
- ③ ドライブ
 ④ 利用者の方や職員の方からたくさんのお話を学びたいです。

- 介護士 小川 紗梨花
 ① 昭和59年9月11日 ② O型
- ③ ショッピング
 ④ 少しでも早く仕事を覚え、利用者さんの気持ちがわかる介護士になりたいです。

- 介護士 宮本 幸葉
 ① 昭和56年1月17日 ② A型
- ③ 散歩
 ④ 利用者さんに喜んでもらえるように努力して、心掛けてもらえよう頑張ります。

- 介護士 岡田 光希
 ① 昭和59年10月13日 ② O型
- ③ 映画鑑賞
 ④ 体調管理をしっかりして明るく、元気に頑張ります。

- 介護士 浅井 静香
 ① 昭和48年4月19日 ② O型
- ③ ライブ
 ④ 利用者の方の立場に立ったサポートができるよう頑張ります。

- 介護士 藤谷 麗子
 ① 昭和52年8月9日 ② O型
- ③ スキー
 ④ 笑顔と心掛けて仕事に励みます。

- 介護士 林 万穂子
 ① 昭和57年12月1日 ② B型
- ③ 映画鑑賞、買い物
 ④ 素晴らしい笑顔で心の基もったケアを提供できるように頑張ります。

- 介護士 内藤 三鈴
 ① 昭和57年1月24日 ② B型
- ③ ライブ
 ④ いつも笑顔と元気をたよませ、利用者の方の気持ちに寄り添うよう頑張ります。

- 介護士 水野 愛
 ① 昭和59年5月22日 ② O型
- ③ パスを作る
 ④ いつも利用者さんが笑顔で生活をしたいけるよう元気に頑張ります。

- 相談員 青山 剛士
 ① 昭和56年12月9日 ② O型
- ③ 野球
 ④ 利用者さんから安心・信頼される職員を目指します。

- 事務員 日比 如里
 ① 昭和57年5月23日 ② A型
- ③ 音楽鑑賞
 ④ 誰とでも笑顔で接することを心掛けた頑張ります。

- 介護士 高岡 邦喜
 ① 昭和54年11月20日 ② O型
- ③ サッカー
 ④ 利用者さんに喜ばれるよう頑張ります。

- 介護士 長尾 眞世
 ① 昭和57年8月15日 ② A型
- ③ 音楽を聴くこと
 ④ 利用者さんや職員の方に信頼される職員になります。

- 介護士 渡辺 大介
 ① 昭和57年11月20日 ② O型
- ③ ドライブ、料理
 ④ 何事にも日々勉強の精神で、初心の心を大切に頑張ります。

- 介護士 吉野 富士理
 ① 昭和52年8月18日 ② A型
- ③ 風景写真、音楽鑑賞
 ④ 笑顔を見るだけで明るい気持ちになつて頂けるよう努力します。

- 看護師 波多野 琴美
 ① 昭和45年8月18日 ② O型
- ③ 音楽を聴くこと
 ④ いつも笑顔であるように心がけま

- 介護士 塩谷 夏代
 ① 昭和48年8月5日 ② A型
- ③ 動物愛護
 ④ 利用者さんの立場を考えた愛情のあるケアを目指します。

- 介護士 寺井 つる子
 ① 昭和28年6月23日 ② A型
- ③ 自然にふれること
 ④ 利用者の方を私も楽しんで毎日を過ごせることを目指したいです。

- 看護師 大原 幸子
 ① 昭和25年4月22日 ② A型
- ③ 旅行
 ④ 障害者の方の身になり接するよう努めます。

- 介護士 神谷 康裕
 ① 昭和50年8月15日 ② B型
- ③ 読者、フットサル
 ④ 常に前向きな気持ちを忘れない施設職員を目指します。

- 介護士 榎藤 早苗
 ① 昭和55年5月12日 ② B型
- ③ 国内旅行
 ④ 明るく笑顔で頑張ります。

- 介護士 渡辺 大介
 ① 昭和57年11月20日 ② O型
- ③ ドライブ、料理
 ④ 何事にも日々勉強の精神で、初心の心を大切に頑張ります。

- 介護士 藤谷 麗子
 ① 昭和52年8月9日 ② O型
- ③ スキー
 ④ 笑顔と心掛けて仕事に励みます。

- 介護士 藤谷 麗子
 ① 昭和52年8月9日 ② O型
- ③ スキー
 ④ 笑顔と心掛けて仕事に励みます。

介護士 天野 初音
 ①昭和58年1月19日 ②O型
 ③サッカー観戦
 ④明るく元気に頑張ります。

介護士 長尾 朋
 ①昭和53年4月1日 ②A型
 ③サッカー
 ④介護士として責任ある行動をし、明るく介護者でありたいです。

介護士 原田 めぐみ
 ①昭和60年2月28日 ②A型
 ③テニス
 ④利用者の方の声に常に足が止められるような介護士を目指します。

介護士 松下 麗史
 ①昭和55年3月23日 ②O型
 ③テニス、ドライブ
 ④共に働く職員の方々、利用者さんにも信頼されるよう頑張ります。

介護士 清水 恵
 ①昭和59年11月1日 ②A型
 ③スケボー
 ④初心を忘れず、いつも元気に笑顔で頑張ります。

とよたグループ
特別養護老人ホームとよた苑
 相談員 黒木 美香
 ①昭和57年11月30日 ②B型
 ③テニス、音楽鑑賞
 ④笑顔忘れずに頑張ります。

介護士 岡山 智子
 ①昭和59年6月6日 ②A型
 ③音楽鑑賞
 ④いつも元気で明るく、利用者の方と関わっていききたいです。

介護士 吉田 淳一
 ①昭和57年6月7日 ②O型
 ③海釣り
 ④「笑顔」と「フアイト・見」を合言葉にがんばります。

介護士 山内 諭
 ①昭和57年8月31日 ②O型
 ③読書、旅行
 ④笑顔と初心を忘れず、日々学んでいきたいです。

介護士 太田 遥子
 ①昭和57年5月8日 ②A型
 ③旅行
 ④利用者の方の立場に立つた援助ができる介護士を目指します。

介護士 杉浦 富士子
 ①昭和59年9月30日 ②O型
 ③ピアノ、バレエ
 ④私があることで周りの人たちが楽しくなるような人になりたいです。

介護士 高木 舞
 ①昭和59年12月3日 ②A型
 ③読書、ドライブ
 ④常に利用者の方を思い、冷静な判断が出来る介護士を目指します。

介護士 白山 悠香里
 ①昭和57年7月29日 ②A型
 ③お菓子作り
 ④利用者一人ひとりに合った関わり、援助を心掛けたいです。

介護士 長谷川 慧世
 ①昭和57年7月10日 ②B型
 ④ガーデニング
 ⑤利用者の方と強い信頼関係が築けるようなサービス提供を心がけます。

介護士 皆岡 優
 ①昭和57年10月6日 ②O型
 ③旅行、スノーボード
 ④明るく笑顔でコミュニケーションに仕事をがんばります。

介護士 船田 亜天
 ①昭和59年3月26日 ②O型
 ③ドライブ
 ④高齢者の方から学ぶべきことはたくさんあります。その二つひとつの関わりを大切にしていきたいです。

介護士 市川 敬子
 ①昭和31年6月18日 ②O型
 ③ガーデニング
 ④元氣・パワーは人一倍です。若い人達に負けずがんばります。

とよた苑デイサービスセンター
 事務員 金澤 亜矢
 ①昭和59年2月18日 ②A型
 ③インターネット
 ④先輩方の言うことをよく聞いて、素直に真面目に頑張ります。

介護士 小林 令
 ①昭和57年3月14日 ②A型
 ③サッカー
 ④利用者の方に少しでも多くの満足感を得てもらえる職員になりたいです。

介護士 山田 貴弘
 ①昭和57年1月17日 ②B型
 ③スポーツ、音楽
 ④ご利用の方の生活や人生を考えられる介護士を目指します。

とよた苑ヘルパーステーション
 介護士 湯山 尚子
 ①昭和42年9月11日 ②O型
 ③読書、映画鑑賞
 ④常に明るく笑顔で利用者さんに接するよう頑張ります。

とよた苑福祉用具貸与事務所
 相談員 岡井 香住
 ①昭和59年1月15日 ②A型
 ③旅行、歌をうたうこと
 ④信頼される職員を目指して頑張ります。

知的障害者更生施設サンホーム豊田
 相談員 石黒 祥子
 ①昭和59年9月14日 ②B型
 ③買い物
 ④日記の、気配り・心配りで自分の行動に責任を持って行動します。

相談員 宇野 千穂
 ①昭和57年10月31日 ②A型
 ③テニス
 ④利用者の方に信頼され、元氣を与えられる職員になりたいです。

相談員 加藤 肇利葉
 ①昭和57年4月16日 ②A型
 ③スノーボード
 ④いつも思いやりのある態度で利用者の方に接します。

相談員 平山 泰男
 ①昭和59年2月4日 ②B型
 ③音楽鑑賞
 ④一日も早く仕事に慣れ、企業就職にできるよう頑張ります。

相談員 紅谷 洋樹
 ①昭和53年8月22日 ②O型
 ③野球、ドライブ
 ④利用者の方の元気に負けないよう明るく元気に仕事をします。

相談員 松永 晶子
 ①昭和57年9月25日 ②A型
 ③バスケットボール
 ④明るく元気で笑顔で絶やさない職員になりたいです。

退職職員(三百三十二名付)
 ◆特別養護老人ホーム春緑苑 主任調理員 松本早苗/介護士 山田裕子/介護士 杉浦真奈美 ◆春緑苑短期入所施設 主任介護士 沢川節子 ◆春緑苑デイサービス 介護士 林 明美 ◆グループホーム春緑苑 介護士 上 松岡里枝 ◆春緑苑居宅介護支援事業所 副主任相談員 奥田倫子 ◆身体療養施設 春日苑 介護士 長尾清子/介護士 田代亜依子/介護士 赤井義則/介護士 藤井理恵 ◆特別養護老人ホームとよた苑 主任相談員 安藤 信 ◆サンホーム豊田 相談員 中村有紀子/相談員 加藤真理子 ◆若草苑 デイサービス 介護士 片川紗也香

春 緑 苑

平成十七年度を迎えて



施設長 田中 亨

介護保険制度が施行されて六年目を迎えました。本年度は介護保険法の本格的な見直しが行なわれる予定です。主なものとして、介護予防の重視、施設サービスの居住費、食費の原則自己負担化及び地域密着型サービスの創設等が挙げられます。その中でも施設サービス居住費及び食費の原則自己負担化は来年を待たず、本年十月一日から実施される予定で、それによりご利用者の自己負担額は従来の金額に加え更に、約三万五千円のアップをお願いしなければならぬ状況です。

また、この見直しに加え、平成十八年度からは第二回目の介護報酬単価の改訂も実施されます。これら一連の改革は、ご利用者及びご家族の皆様は言うに及ばず、私ども社会福祉法人の事業経営にとっても、きわめて影響が大きく、痛みも大きいものとなるのは必至です。

しかしながら、これら一連の改革に対して、いたずらに脅威のみを強調し恐れているばかりでは何の進展もありません。かかる課題と多種多様なニーズに対し、今必要とされることは、問題を回避するのではなく、問題解決に向かつて、職員一人ひとりが相互に協力し合い、積極果敢に解決策を見出し、より良質な高品質なサービス提供ができるような体制作りと、行政機関・ボランティアを含めた地域社会に存するフォーマル・インフォーマルな社会資源を有機的に活用していくことです。

そのためには正確かつ迅速に情報を収集・分析し、的確な経営戦略を立て、状況の変化に応じて随時修正を加えつつ、常に一歩先を見越した経営を行う姿勢が大切であると考えます。

また、本年十二月には、完全個室・ユニットケア型の介護老人福祉施設「第二春緑苑(仮称)」の完成を予定しており、来年四月から稼働を開始します。ご利用者に在宅での暮らしに近い日常生活を送っていただくべく、個性性を配慮し、その人らしい自立した生活を営むことができるような小集団のケアを目指し、今まで以上に良質な高品質なサービス提供をするために、生活環境の見直しを始め、職員間の連携や更には、職員配置の対応など各種スタッフの行い、より進化したユニットケアの実践

を目指します。

上記内容を念頭に置きつつ、本年度の重点実施項目を以下のように設定し、健全経営の推進と同時に、地域の皆様のご付託にお答えできる施設作りを目指して鋭意努力をいたす所存でありますので、ご理解・ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

【経営理念】

ア 利用者の立場に立った福祉サービスの構築

イ 良質なサービスを行うための職員の資質の向上

ウ 高齢者社会に向けて、地域の核となる施設作りの実践

【経営の留意点】

*「基本の徹底」と「変化への対応」

*公益性の高い社会福祉法人としての役割の発揮や、「行政の制度改革」に対する迅速な対応、小規模多機能を始めとする新たなメニューに対応した業務展開、個性性の高いサービス提供の実践

*制度ビジネスから、顧客中心ビジネスへの機軸転換

*「社会福祉法人の経営」を単なるコストカットインクマネジメントから、顧客本位のサービスをどう駆使していくかという、「真の経営」に目を向けた経営の実践

*新予防給付の対応と施設利用者への重畳化への対応

*従業員満足(E.S.)経営による充実したサービスと快適な職場環境作り

【年度目標】

一、ユニットケアによる個別の援助の促進と顧客満足度のアップ

①利用者各自の趣味・特技を活かす。

②接遇の個別化の実践。

③利用者各自の希望・要望をよく聞き、それを実現する「一人一目標」の更なる実践。

④個別ケアプラン・自立支援の充実と促進、家族の参画を求め。

二、認知症高齢者対応

①本人主体のアプローチの追求

②認知症高齢者に対応したケアの標準化

三、食事の改善

①生き甲斐に繋がる食事作りの追求

②選択肢のある食事内容の促進

③利用者が楽しんで食することのできる味作りと食事空間の創設

四、職員の資質の向上

①職員の資質向上を目的とした、職場を通じての研修

②自己啓発研修制度の促進

③質の高いサービス提供と専門性の向上を目指し、QC活動の積極的推進

④職員が主体性を持って働けるような職場環境作りの創設

思い出に残った 愛地球博の内覧会



▲入口西ゲートで記念撮影

三月十九日(土)、愛知県からのご招待を受けて、愛地球博の内覧会に長久手会場へ出かけました。

先回の大阪万博から数えて三十五年振りの日本開催、しかも今回は愛知県での開催という事で、利用者の皆さんの心意気には強烈なものを感じました。当日は快晴に恵まれましたが、あいにく風が強くなり、肌寒い一日であったと同時に会場内外も大変混雑しており、思うようには動き回ることができませんでした。しかしながら、利用者の皆様始め他の万博見学者のエキサイトぶりは目を見張るものがありました。

残念ながら会場内は起伏が多く、移動手段としてエレベーターを利用していたの昇降となりましたが車椅子二台しか乗らず、移動するのに少々時間を要してしまいました。また、人気のあるパビリオンは、約一時間待ちの状態で見え持ちは急ぐものの全部を見て回ることはできません。しかしながら、何はさておき日本館だけは見たい！との利用者さんの要望をとり入れて、約五十分待つて、一路日本館へ。館内は、世界初三六〇度全天球の映像と心地よい音響に包まれ、異次元空間を体験し、皆さん大変感動されていました。また、見学が終わった後は、世界中の土産品を購入する勢いで、買物を楽しんでおられました。

皆さん楽しみにしていた、愛地球博という愛知県での万博を体験でき、大変思い出深い一日になったことと思います。



▲モリソーとキッコロのお土産片手にハイポーズ!!

春の彼岸法要

三月二十一日(月)春の彼岸法要を行いました。宝珠寺・明照寺のご住職をお迎えし、七十六名のご遺族・ご来賓の皆様のご出席のもと、春緑苑開設以来ご逝去された二百七十一名の物故者の方々の法要を営みました。その後の宴席には出席されたご遺族同士が故人を偲びながら、あちらこちらで談笑されている風景も印象的でした。

日頃のカラオケ練習の成果を発揮

三月六日(日)、坂下公民館まつり芸能発表の部にケアハウス利用者とともに参加しました。カラオケクラブで指導いただいている心を唄う会、さんのご協力のもと、「冬の夜」と「北国の春」の二曲を熱唱し、多くの拍手をいただきました。



▲美しい歌声を響かせます

4月誕生者紹介

北川	正子さん	九十一歳
猪村	啓子さん	九十歳
平野	公子さん	八十九歳
津田	きよのさん	八十八歳
山本	光子さん	八十七歳
森岡	きぬ子さん	八十二歳
根橋	志げをさん	八十一歳
濱野	久代さん	七十五歳
伊藤	邦子さん	七十歳

以上九名の方です。おめでとうございます。

出会いと別れ

〈入苑〉
松岡 素子さん 八十二歳
三月十七日付で入苑されました。

〈退苑〉
大江 糸つさん 九十歳
三月二十三日、永眠されました。
故人のご冥福をお祈り申し上げます。

四・五月の行事予定

四月二十一日(木) 花まつり・月例祭
四月二十三日(土) 保護者会総会・茶話会
四月二十七日(水) 誕生会
四月 末 藤見会(曼陀羅寺)
五月五日(木) 端午の節句
五月二十八日 春緑苑開設第十九回記念祭及び法人理事会、評議員会

平成十七年度に臨んで

春緑苑短期入所施設
施設長 佐藤俊子

利用者を選んでいただける
サービス提供に徹して

介護保険施行後、五年を経過し、平成十八年からの見直し改正は、利用枠を押さえ、介護予防サービス重視をうたうことで、事業所にも大きな転換を求めてくることになりそうです。介護保険制度は、契約による福祉サービス利用というシステムにより、長く続いた福祉の壁時代をとりのぞいてくれました。そのため、福祉への利用者様の利用は急増し、良質なサービスの内容が問われています。

私たちは、今まで以上に利用者様のニーズに応えられる良質で使いやすい、使ってよかったと言っていただけサービス提供に努力し、満足、感動を感じていただけるサービスを目指します。

また、地域における福祉の拠点として、複合施設としての歴史や実績を活かし更なる健闘をします。今年度も、引き続きご理解とご協力をお願いします。

デイサービス

『一芸会』に大満足!

三月二日(水)、「一芸会」の皆様が慰問に来てくださいました。「一芸会」は、名前のごとく、一人ひとりが一芸をもって集まったグループです。まず驚いたのが、舞台作りから始まったことです。予定時刻の一時前前から準備をしてくださり、とてもしつかりとした舞台が出来上がりました。

そして司会の方が合図をすると、利用者の方々の大きな拍手とともに舞台の幕が開きました。第一部の「ばんばの忠太郎」の始まりです。旅から戻った忠太郎が母の元へと尋ねるのですが、悪い噂もあり、母は忠太郎を息子だと認めようとはしないという物語です。チャンバラ劇もあり、利用者の方々がかたずを飲んで見守っていました。

第二部はうつつて変わって華やかな歌と舞で利用者の方々を魅了しました。華麗な舞には目を奪われるほど



▲魅了されました

訪問入浴サービス

皮膚を見てわかること

皮膚のケアはとても大切で、皮膚を臓器と考える第三の医学と呼ばれる分野があるほどです。皮膚の老化には大きな個人差があります。それぞれの体の体質の違いや生活習慣の違い、また環境によっても大きな違いが現れます。

私達は高齢による皮膚の免疫能でした。また、多くの歌も利用者の方々が知っている曲ばかりでしたので、懐かしさに口ずさんでいる方や、大声で歌いだす方もみえて、「一芸会」と利用者の方々が一体になって一つの舞台を作り上げていく感じがしました。

ある利用者の方は、「こんな舞台を見たのは、もう何十年も昔のことです、今日はとても嬉しかったです。」とおっしゃってくれました。「一芸会」の皆さん、素晴らしい舞台を見せていただき、本当にありがとうございます。

グループホーム

おこしもの作り

三月初めに、利用者の皆さんと一緒に「おこしもの」作りをしました。

力の低下などを考慮し、利用者様の皮膚炎などを見つけた場合は、専門医の診療をすぐにお願ひします。また、皮膚の治療のためには、栄養改善や精神的安定も必要で、そうした点にも気を配っています。人それぞれの健康状態が、皮膚の健康にも影響を与えていて、皮膚を見れば、その人の体の調子がおおよそ分かります。皮膚への配慮を大切にして、これからもより良い入浴のケアをしていきます。

まず米粉を熱湯で練り、練り上がったものを皆さんで色々な木型にはめていきました。次に木型から取り外して、赤や青や黄色の食紅で、鯛や福助の形をしたおこしものに色が付けられました。皆さん、「なつかしいね」、「昔はよく作ってたわ」、「自分で作ったものは特別美味しいね」と会話をしながら蒸しあげたおこしものを召し上がっていました。



▶おこしもの

老人介護支援センター

研修会に参加しました!

3月22日(火)・23日(水)とパシフィコ横浜・国立大ホールで行われた「平成16年度全国在宅介護支援センター第2回研修会」に参加しました。厚生労働省老健局計画課課長の川尻良夫氏の行政説明では、介護保険法改正で新たに盛り込まれる「地域包括支援センター」についての情報提供がありました。

包括支援センターが行なう業務は、「包括的支援事業」で、責任主体は市町村、運営主体は①市町村直営、②老人介護支援センターの運営法人、③その他市町村が委託する法人となります。配置職員は①社会福祉士、②保健師又は経験のある看護師、③主任ケアマネジャーです。また包括支援センターは市町村長に申請し「指定介護予防支援事業者」として指定を受け、新予防給付対象者のマネジメントも行ない、その報酬を受けることにもなります。この介護予防計画書の原案を作成することは厚生省令で定める者に委託可という形になっています。これに伴い「介護支援相談」の規定は削除されましたが、「老人介護支援センター」の規定は残りました。地域包括支援センターは市町村事業なので第Ⅲ期介護保険事業計画の策定の推移に今後注目していくことが大事だと感じました。

今後、勉強会で学んだことを生かして、サービスに努めていきます。

ショートステイ
デイサービスは生活サービス(食事・入浴)を中心に行われる日帰り介護ですが、ショートステイは施設に一時入所して数日過ごし、ご本人や家族にリフレッシュしていただくためのサービスです。それでもこの知らない所へ泊まるということがある利用者の方にとっても大変なプレッシャーになることもありますが、昼間は何事もなくても、夜間落ち着きをなくしてしまえば寝られなくなったりする方もみえます。高齢者でなくても枕が替わると寝られないといえますから、心理的な動揺はあって当然だと思います。入所時に血圧・体温を測定いたしますが、緊張のため測定値が高い方は珍しくありません。ショートステイを上手に利用するコツ

認知症のケアについて

居宅介護支援事業所

現在、全国の要介護認定者の二

は、何か急用があつてから利用するのではなく、前もって一泊二日や二泊三日のお試しをしておくことです。お試しは、現場の介護士が利用者の生活パターンを観察させていただくこととなります。なにより利用者の心理的負担を少なくすることになります。ぜひショートステイを定期的に使用していただき、介護される方、介護する方の肉体的心理的負担を軽減しましょう。



人に一人が認知症であり、高齢者介護の中心は認知症高齢者のケアであるとも言われています。記憶障害が進行する一方で、感情やプライドは保たれていることから、まわりに対して不安を抱くと同時に、対応の仕方によっては焦燥感、喪失感、怒り等を感じやすくなります。事業所の介護支援専門員としては、利用者の生活を尊重し、今までの生活歴の中から、個人が大切にしてきた物や習慣、環境等を考慮し、どうしたら安心した笑顔の見られる生活が送れるのかを、その時、その時の利用者の状況や状態を観ながら援助内容や方針を各サービス機関と話し合い連携をとり業務を進めております。また、本人が持っている能力や興味・関心事など常に目を配りながら利用者の生活の支えとなっていきたいと考えております。

ヘルパーステーション

有意義な勉強会

春風が心地よく感じる季節となりました。訪問宅へ急ぐ車の中から見ると、花々の美しさに心がなごみ、ご利用者との会話にも、自然に笑顔があふれます。

現在、ヘルパーステーションでは、よりよい活動を目指して、勉強会の充実に力を入れています。今年の勉強会は、活動の向上のためにどんなことを学びたいのか、ヘルパーの要望をもとに、内容を決定しています。

二月の勉強会では、高齢者向けのサービスの種類や内容を学ぶために、支援センター職員からの講習をうけました。高齢者の福祉制度を学ぶことで、ご利用者の一番身近で接するヘルパーが、自信をもって対応しなければいけないと、あらためて考えさせられました。また、認知症についても詳しく教わりました。具体例での対応方法は日頃の活動に即活用することができ、とても勉強になりました。

ケアハウス春緑苑

新年度に向けて



施設長

浅見伊勢子

今年度も入居者の皆さんに健康で生き生きとした満足以上の「感動」がある生活を送っていただけるよう、職員一同、皆さんの活躍とやる気を応援させていただきます。

平成十七年度の介護保険制度の見直しを見据えたうえで、ケアハウス春緑苑においても何らかの介護を必要とされる方が増えてきています。要支援・要介護などの軽度の要介護者に対するサポートを施設全体で取り組んでいく必要性を感じています。認知症や身体機能の低下の予防策として、「この指とまれ!」の企画はもちろんのこと、積極的に活気あふれるケアハウスを目指していきたいです。今年度も、ご支援・ご指導の程よろしくお願ひします。



一足お先に行っちゃいました
愛知万博の内覧会

三月二十日(日)、ケアハウスの元気な十一名とグループホームの方々、総勢二十七名で車に揺られること一時間、愛知万博の内覧会へ行ってきました。

「あれも見たい!!」、「こっちも行ってみようよ!」と目移りしましたが、人気のパビリオンには入ることが出来ませんでした。それでも長久手会場を縦断するキックログンドラに乗り、万博会場を一望できました。

帰りは皆さん少々お疲れの様子でしたが、「外国館はたくさん周った!イタリア料理おいしかったわよ!」、一人が多くてとつても疲れた。お土産屋がなくて残念だった!今度行ったときに買ってこよう!、「今回行けなかった人も一



緒に「この指とまれ!」で行きましようよ!」と、たくさんの上座話に花を咲かせていました。



紙粘土創作展「花咲かじいさん」
みんなで桜の花を咲かぜました

今年も紙粘土クラブは梅田寿子先生主催の紙粘土創作展に出展させて頂きました。会場はとても紙粘土で出来ているとは思えない花ばかりで、利用者一同感激しました。



▲桜の花ひら1枚1枚丁寧に作りあげました
他の方の作品が、とってもおもしろい
と利用者

おいしく出来上がったよ!
いなまつりおこしもの作り



▲見てくたさい!みなさんのこの真新しいなまごしを...

● 出会いと別れ

〈入苑〉

稲垣 和夫さん

九十三歳

四月二日をもって入苑されました。

〈退苑〉

吹原 光子さん

九十歳

三月三十一日をもって退苑されました。

● 4月誕生者紹介

澤田 栄子さん

七十七歳

● 四・五月の行事予定

四月二十一日(休) 花まつり

四月二十七日(休) 誕生会

五月五日(休) 端午の節句

五月中旬 茶話会

五月二十八日(出) 開設記念祭

春日苑

新年度を迎えて

施設長
浅井 敦臣

平成十五年四月にスタートした支援費制度も早いもので三年目を迎えました。また、昨年十月には厚生労働省から今後の「障害保健福祉施策」について見直すことを目的としたグラウンドデザイン案が出され、その中で新しい法律である「障害者自立支援法(案)」本年五月施行予定の考え方が示されました。

今後概ね五年にかけて障害保健福祉の世界は大きく変わろうとしています。主な事柄として身体・知的・精神といった障害種別ごとにサービスを提供するのではなく障害特性等を踏まえた形になっていく、また、利用者負担を見直し、負担能力の乏しい方へ配慮しつつ、福祉サービスの利用量に応じた負担(応益、定率負担)としていく、そして施策の体系が見直され、日中活動の場と住まいの場とにわけられる等々……。

このような変革の時代を迎える

にあたり今年度、春日苑においては次の事項を主な重点目標として取り組んでまいります。①個別生活支援計画に基づいた支援の徹底②利用者の生活をアセスメントし生活ニーズを明らかにし、ニーズに合致したサービス調整をし、どのような障害があろうと本人の意思を尊重し、自己決定に基づく自立に向けた生活支援をケアプランとして提供する③サービス評価活動の推進④継続的にサービスの質の向上を目指すため施設の現状と課題を明らかにし、改善計画を立て実行、再評価していく⑤地域生活移行プログラムの普及⑥地域生活へ移行が可能な利用者についてそのプログラムを作成し支援

気合い十分!ももの節句



▲春日苑恒例よさこい!

していく⑦個人情報保護の推進⑧「個人情報保護に関する法律」への対応をしていく⑨外出支援の充実⑩外出への支援、機会を増やしていく⑪リハビリの充実⑫利用者や障害程度により、運動・作業・あそび・嚙下・言語の五つのグループにわけ、PT・OT、看護師・介護士等のスタッフにより展開していく⑬「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」⑭「可能性の限らない追求」⑮「共に生きる社会づくり」という基本理念を実現していくためにどうか今年度も利用者、その家族の皆様、地域の方々のより一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

三月三日(木)、職員による演芸会が行われました。職員がよさこい踊り、ゴリエちゃんダンス、漫才二組、ピンククレディのUFOの五つのグループに分かれ、日々密かに練習していた出し物を披露し、食堂に利用者の方々の笑い声があがりました。アンコールでは全職員で利用者の方々を囲むようにしてよさこい踊りを踊り、最後に利用者・職員全員で「あの素晴らしい愛をもう一度」を歌い、笑顔の中、会は終了しました。

利用者の皆様、私達の演芸は楽しんで頂けましたでしょうか。



▲この笑顔の先には…!



▲だーれた!

▼モリゾー、
キッコロとともにお



三月十八日(金)の午前中、雲が多く天気が心配されましたが昼からの出発時間が近づくと、つれ太陽が出てきて、皆、期待を胸にいざ出発。車内ではどのパビリオンを見ようかと大盛り上がりで現地に着きました。会場は広すぎてどこから行けば良いか分からず、とりあえず冷凍マンモスを見るため進み出したものの坂が多く車椅子には辛かったです。目的地に着きマンモスと合成写真を撮ったり本物のマンモスを目の前にして楽しい時間が過ぎましたが時間が足りず結局一か所しか見れませんでした。

行ってきました! 愛知万博内覧会!!



▲マンモス見たよ～

今回は十六名(十名の利用者、六名の職員)の参加でしたので半年間行なわれる期間中に、是非もう一度、今度は利用者全員で来れることを願い、皆、帰路に着きました。

利用者さんご紹介

西脇さんは、昼食後居室に戻るといつも、スケッチブックを広げて絵を描いていらつしやいます。居室に置いてある植物、今までに行った場所、そして職員の名前を描いてくださっています。毎年五月に行なわれている記念祭には、その中から数枚を展示して春日苑の目玉の一つとなつていきます。記念祭には、ぜひ見に来てください。いつも笑顔で、でもちよっぴ

支援センターだより

みなさん、花見はなさいましたか?この原稿を書いているのは三月の末、いつもなら花見にちようどよい頃なのですが、今年は桜も少々寝坊しているようです。とはいえ、この広報が届く頃には葉桜がはじまっているでしょうか。季節は移り変わっていきませんが、障害者の方々への生活支援に関わる制度もまた次々と変革が起こっています。それらについてより詳しく知りたい点、疑問な点がありましたら、いつでもご連絡ください。連絡先は、

支援センター直通電話

(〇五六八) 八八七六七三

ファックス

(〇五六八) 八八七五七〇四

り恥ずかしがり屋な西脇さん。これからも、もっといろいろな絵を描いてくださることを楽しみにしています。

西脇鈴子さん



▲お気に入りの絵と一緒に1枚!

涙と笑顔の送別会

三月三十一日(木)、食堂にて五名の異動者及び退職者の送別会を行ないました。利用者さんからの花束や色紙を涙ながらに受け取る退職者の姿を見て、惜しまれる声が多く聞かえてきました。第二部として行なわれた会食では、思い出話に花を咲かせ、退職者と写真撮影をするなど楽しい雰囲気です。食事をすることができました。涙なみだの送別会でしたが最後には笑顔で見送ることができました。退職者の皆さん、お元気でこれからも頑張ってください。

4月誕生者紹介

高橋 菊子さん	三
太田 秀樹さん	五
内田 真裕美さん	十四
横井 幸三さん	十九
石川 アツ子さん	二十四
太田 里花さん	三十

四・五月の行事予定

四月十九日(火)	第七回春季施設交流ゴロバレーボール大会
四月二十日(水)	定期健康診断
五月五日(木)	端午の節句(パーベキュー)
五月十二日(水)	レクの日
五月二十八日(土)	開設記念祭
六月一日(休)	バスハイイク(愛・地球博、他)

とよた苑

平成十七年度の

施設運営にあたって



施設長 山田 卓

この度、職員施設長の後任としてとよた苑に勤務させていただきことになりました山田です。

とよた苑は、この四月に開所した福祉用具貸与事業所を加え、六事業所を有する地域の中核施設であり、その重責に身の引き締まる思いを致しております。

在宅重視と自立支援を理念に、介護保険制度が創設されてから五年が経過した今日、この制度の持続を期して、介護予防を重視したしくみに変えたり、施設給付の見直しや地域に密着したサービス体制を重視するなど、制度全般における見直しがまさに始まろうとしております。このことは、施設を利用される方々にとっては利用制限、利用料の自己負担増に直結することを意味しますし、さらには施設を運営する側にとっても様々な制約を受けることとなり、施設経営上、大変厳しい状況を招来す

賑やかにバイキング食

三月二十五日(金)、とよた苑二階食堂にて、バイキング食を行いました。

助六寿司、うなぎの長焼、刺し身、天ぷら、焼そば、おしるこ、フルーツの盛り合わせなど、様々な

ことが予見されます。

介護保険制度が、利用する者と利用される者との契約の上で成り立つ以上、質の高い差別化により、絶えず勝ち組であり続ける必要があります。恩賜財団愛知県同胞援護会が経営理念とする利用者本位のサービスの提供や良質なサービスの提供するための職員の資質の向上、地域密着の信頼されうる施設づくりを確かなものとするため、

個別ケアへの取り組みを一段と充実するとともに、利用者の安全を図るためのリスク管理の徹底、利用者の方々の人格の尊重を基本に、心の鍛錬と介護のプロとしての技量を磨くための職場内外の研修も充実させてまいりたいと考えています。

施設運営は、職員のみならず関係行政機関、医療機関、自治区等の地域との連携や、家族会、ボランティアの皆様の支えの上で成り立っています。

本年度も引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

な料理がテーブルに並び、何を食べてよいかと、皆さん目を輝かせていました。職員が「何を取りますか」と尋ねると、「あれも、これも」といつの間にかお皿いっぱいになり、大変賑やかで、皆さんの笑顔をとくさん見ることができたバイキング食でした。



▲あれもこれもお腹いっぱい食べたくなっちゃう

春の彼岸法要

三月二十一日(月)、長慶寺の藤住

職にお越

しいただ

き春の彼

岸法要を

行ないま

した。当

日は、と

よた苑お

よびケア

ハウス豊

田開設以

後お亡く

なりにな

られた。二百二名

のご冥福を、ご遺族、利用者の方々とともに祈りました。



▶二百二名の「ご冥福を」お祈りいたします

立派な車椅子を

いただきました

三月四日(金)に益富中学校から車椅子を三台、三月八日(火)には五ヶ丘小学校から車椅子を一台いただきました。

当日はそれぞれ各校に利用者の方とお伺いし、贈呈式にて車椅子をいただきました。

益富中学校及び五ヶ丘小学校の児童生徒・保護者の皆さん、ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



▲車椅子ありがとうございました。大事に使わせていただきます

とよた苑福祉用具貸与事業スタート!

四月一日(金)、とよた苑建物内に、介護保険による福祉用具貸与事業所を開設しました。

福祉用具貸与事業とは、介護の軽減・機能障害の補助・機能訓練(廃用症候群の予防)を目的とし、要介護状態になった場合においても福祉用具を貸与することにより、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援する事業です。

介護保険の対象となる貸与の種目は、車いす、車いす付属品、特殊寝台、特殊

寝台付属品、じよくそう予防用具、体位変換器、手すり、スロープ、歩行器、歩行補助つえ、痴呆性老人徘徊感知器、移動用リフトの十二種類です。

この事業のサービス利用にあたっては、居宅介護支援事業所または当事業所(☎〇五六五-八八一七〇〇)へご相談ください。



▲専門相談員の澤井(左)と筒井(右)です
よろしくお祈りします



◆生花クラブ◆

利用者作品展



◆習字クラブ◆

健康が一番!!

三月十四日(月)、とよた苑利用者七十七名、ケアハウス利用者四十六名、職員三十一名の健康診断を行いました。

利用者さんは、健康管理の大切さを充分認識されており、頑張っ

て受診されました。

今年も一年、利用者の皆さんに健康で楽しく過ごしていただけるよう職員一同頑張ります。

4月誕生者紹介

竹村 志げのさん 八十七歳
二瀬 タミさん 七十六歳
水島 千代子さん 七十五歳
林 石根さん 七十四歳
土井 勝美さん 七十歳
山下 幹雄さん 七十歳
おめでとございます。

●出会いと別れ

〈入苑〉

柴田 正義さん 百一歳
二月一日付けて入苑されました。

近藤 テルさん 六十九歳
二月二日付けて入苑されました。

清水 エミ子さん 八十二歳
二月三日付けて入苑されました。

青山 春枝さん 八十一歳
二月四日付けて入苑されました。

西田 富子さん 七十八歳
二月十四日付けて入苑されました。

加藤 ヒサエさん 七十七歳
二月十五日付けて入苑されました。

〈退苑〉

黒部 ひささん 百四歳
三月三日に永眠されました。

光武 茂さん 九十三歳
三月十一日に永眠されました。

ご冥福をお祈りいたします。

デイサービス

楽しいひなまつり

デイサービスでは、二月二十一日（金）～二月二十三日（木）まで、ひなまつり会を行いました。利用者の皆さんは、フロアーに飾ったひな人形を見ながら今から何が始まるかと落ち着かない様子です。最初に、ひな人形まちがいがいさがしです。お内裏様の代わりにカエルが座ったり、椿がさしてあったり大笑いです。すぐ解るものもあればなかなか解らなかつたものもあります。そんなときは、ひな段の前まで来てじっくりさがし、発見できたら大笑いでした。

その後は職員の出演発表です。日変わりで歌、踊り、手品などあり、いつもとちがう姿に利用者の皆さんも大喜びでした。どこから来た役者さんだろーと不思議な方もありました。おやつはいがまんじゅうです。食べながら話もはずみ、とても楽しい時間を過ごされたと思います。



▶みな様は楽しんでね！

卯月句会作品

寒き中日脚延びきて何となく
春の気配の漂う如し

両足を揃えて段を飛び下りて

幼なはひとみ輝かせつつ

病棟の夜の長さよ起きてみつ

寝てみつ時計の針は進まず

如月や木の枝陽を受け春を待つ

寒風の中遠と上向く

神谷 みのるさん

畦道の土筆はまだか立見する

デイの日は行けば優しいピンク服

ウグイスも山唄されて場所変える

今は亡き母の好物よもぎ餅

期末来て自分の無事を振り返る

猫柳寒波に耐えて花咲かず

那須 源吉さん

習字作品



西村 穂代

東山デイサービス

新年度を迎えて



施設長

宇井 亮二

出にかかっています。昨日のことより、明日をどのようにしようか、を念頭に今年度一年頑張ります。

利用者の作品(俳句)

高月院春告げている松平
立春やゴンニヤク作る嫁自慢

寺澤 和昭さん

春雨で土手のよもぎも青さ増す
山間でこぶしの花が彼方此方と

那須 源吉さん

谷間の吊橋揺れる故郷や
裏庭の白黄色の花水仙花

三井 象夫さん

誕生者紹介 4月

丸石 イトヨさん 八十八歳

三井 象夫さん 八十六歳

村田 幸雄さん 八十五歳

近藤 志ま子さん 八十五歳

鈴木 ヒナ子さん 八十五歳

寺澤 和昭さん 七十七歳

中根 治弘さん 七十七歳

藤田 スミエさん 七十二歳

平松 里師さん 六十六歳

三浦 博さん 六十四歳

内田 忠夫さん 五十六歳

ケアハウス豊田

平成十七年度を迎えて

施設長
松尾 孝

ケアハウス豊田が開設されて八周年を迎えることになりました。十六年度から私が施設長として勤務するようになり早一年たちました。短いようで長い一年でありました。

この十六年度には十四名の新しい方達が入居されました。ということはそれに見合う方達が退所されており、こんなに多くの方達との出会いと別れに接していたかと改めて感慨深い思いがします。

この施設に関わられた方々の幸せを祈り、そして新しく入居された方々の満足感を求めて職員一同と頑張っております。皆様方のご支援とご指導をお願い申し上げます。

伊豆修善寺温泉一泊旅行



▲旅館にす。お料理サイコー!!



▲はいっ、チーズ!!

三月十五日(火)から十六日(水)にかけて入居者十二名と伊豆修善寺温泉へ一泊旅行に出かけました。一日目、まず沼津港で昼食に寿司をいただき、ネタの大きさと安さにびっくり!おいしくいただいた後、十

五時過ぎに修善寺に着き、さっそくお参り!と思ったのですが改修工事中で本堂は見る事ができず残念でした。しかし、満開の彼岸桜に出会うことができました。旅館は創業三百五十年という老舗の菊屋旅館で三メートルはありそうな太きの樺の木に歴史を感じさせられました。ゆっくり温泉を楽しみ、ツルツルの肌になった後は大宴会で大いに盛り上がり「笑いきり顔のしわが増えちゃうー!」「こんなに楽しいのは初めて。」とたいへん満足されました。

二日は、華山のいちご狩りに出かけ、真っ赤に熟れた甘いいちごをお腹いっぱい堪能し、帰りの富士川サービスエリアでは見事な富士山の姿も見ることができ、身も心も癒された旅となりました。



▲真っ赤ないちごは絶品です

観梅会

三月三日(木)ひなまつり会を終えた午後、利用者二十二名と平芝公園と性源寺に出かけました。穏やかな天候に恵まれ絶好の梅見となり、紅梅・冬室梅が見頃ではのかな匂いに誘われ顔を近づけていた方も多くみえました。



▲春の香りいっぱいの園内にて

誕生者紹介

4月

村山	ち系子さん	八十九歳
後藤	盈子さん	八十六歳
村山	秀夫さん	八十六歳
葛谷	志きさん	八十二歳
西田	スノさん	七十九歳
宇井	そよ子さん	七十一歳
大原	カナへさん	六十八歳

若草苑

平成十七年度を迎えて



施設長

田中 幸男

若草苑も二年が経過し、これまで明るい施設としての「若草苑」のカラーを前面に押し出し、より地域社会との交流を深めながら、利用者個々のニーズに合った施設づくりを目指してきましたが、本年度は、更に、地域社会との交流に力を入れ、苑内行事の充実と地域行事への積極的参加に努め、地域の方々を受け入れられる、「開かれた施設」を目指します。

また、今年度は、介護保険制度改正の年でもあり、養護老人ホームにとつては、これまでの措置費制度から介護保険制度への転換を迫られる年でもあり、新しい制度に対応できるように研究を重ねていきます。

併設のデイサービスセンターにつきましても、介護保険制度改正で、より厳しい状況になることが予想されますので、職員の資質向上とサービスの向上に努め、利用者拡大を目指します。

三十五年前の万博思い出す

三月十八日（金）、愛・地球博内覧会に利用者十五名、職員五名で行ってきました。

長久手日本館では迫力ある三六〇度の映像にビックリ。大地の塔（名古屋パビリオン）では世界一大きな万華鏡に感動。利用者同上、「三十五年前の大阪万博では三時間並んで月の石を見たが、暑かったし、大変だった。でも、今日はいいなあー。まあーわしが生きとるうちには万博はもうないわなあー。万博も来れたいし思い残すことない。」「本当だね、私も大阪万博行ったけどあれは大変だった。今日は本当に来てよかった。」と三十五年前を思い出しながら語り合い、愛・地球博を楽しみました。



▲大阪万博を思い出しながらの記念撮影

4月誕生者紹介

森 正さん	一
門山 祐二さん	七
城木 始さん	九
吉田 とし子さん	十
服部 静男さん	十
松井 ジウさん	十三
坂本 京子さん	二十

以上七名の方々です。おめでとうございます。

●四・五月の行事予定

四月十五日 誕生会
四月二十五日 龍カラオケ・春和の会慰問

デイサービス

梅見物で春を感じる

三月五日（土）・六日（日）の両日にかけて、センター近くにある平芝公園に梅を見に出かけました。二日間とも天候には恵まれましたが、少々肌寒い日となりました。園内では、紅白の梅の中を利用者者と散策しました。普段あまり

4月誕生者紹介

日沖 マシ子さん	八十六歳
荒井 千万子さん	八十五歳
筑紫 恒雄さん	七十三歳
安達 務さん	六十九歳



▲梅のいい香りに包まれニコリ

外出しない方からは、「久しぶりの外出で気持ちいい。」「梅のいい香りがするね。」などの声も聞かれ、皆さんの表情も良く春を感じる事が出来ました。

サンホーム豊田

十七年度を迎えて



施設長 高廣 徹

桜の蕾が昨年の同時期に比べて遅いような気が致します。いずれにしても植物は正直なもので必ず芽を出し開花し楽しんでくれます。

さて、障害者福祉においては支援費制度が始まって二年を経過しました。これをきっかけに障害者が自由にサービスを選ぶことが可能になりました。真に利用者にとって満足されるサービスの提供がされたかどうか入所施設においても常に考えていかなければなりません。またここ数年の間に福祉サービスの種類も多くなってきました。最近、道々で福祉サービスの車が走っているのが目に入ります。先日私の知人宅へ所用で赴いたところ、母親が入浴サービスを受けたばかりだといいます。今迄に二施設の老人ホームに入所申し込みをしたが順番待ちで、すぐには入れないと嘆いておりました。当サンホーム豊田は開設七周年を迎え、昨年の六月に五十名から六十名に定員を増員しました。ま

た、この四月一日に併設型の知的障害者野見デイサービスセンター(定員十五名)を開所いたしました。在宅の知的障害者の日中活動・余暇活動の場として利用していた

ついに開所! 野見デイサービスセンター

平成十七年四月一日(金)、開所を迎えました。



▲みんな生まれー!

利用者さんの絵

三月十二日(土)、瀬戸市にある「知的障害者更生施設まゆ」のまゆ祭りに利用者四名、職員二名で行ってきました。今回は、まゆ祭りに参加した樹神正秋さんに絵を画いてもらいました。

樹神さんは、いつも笑顔で職員のみねなどをしてみんなを笑わせてくれます。職員のお手伝いも積極的に行ってきています。これからも、元気で楽しく生活してね!!

だき、自立支援に向けて職員共々力を合わせて、一生懸命に取り組んでいきますので、皆様方のご支援を賜りますようお願い致します。

して、利用者、家族の方々の意見を反映し、選択式プログラムを取り入れて行っています。皆様も是非、見学にいらしてください。

待ちに待った愛知万博!!

三月二十日(日)、当日はあまり日が射さず、少し肌寒い日でしたが、待ちに待った愛知万博!! 総勢百二十八名で元気に各自の目的のパビリオンをめざして歩いて行きました。ご家族や仲良しの利用者、職員と一緒にグループで行動

でき、みんな大満足でした。大変混雑していて、パビリオンを観覧するのに待たなければいけませんでしたが、帰りのバスでは、一たのしかったよ!! という声がたくさん聞かれました。



▲いっぱい回るぞー!

たのしかったよ



4月誕生者紹介

加藤 春一さん	七
服部 元寿さん	八
鈴木 千恵子さん	十一
福岡 弘枝さん	十六
中根 誠さん	二十七日
川合 剛さん	二十七日

四・五月の行事予定

- 四月六日(日) お花見
- 四月二十九日(金) 開設記念祭
- 五月五日(木) 端午
- 五月十二日(日) 十二日会

ふれあいスポーツ大会

音色とリズムに包まれて

施設それぞれの

ひなまつり会

▶会食のあとは
華やかな演奏に感動



特養春緑苑



特養とよた苑

◀きれいな音色にうっとり

ケアハウス豊田



▲入居者さんも参加し「えい!や〜!」



▲しんと背すじがのびます

ご存じの方も多いと思いますが、和琴は奏者の背をこえる大きさで、一八〇センチ程もあるそうです。その上、「艶」のある音色を出すのに「爪」をつけた指を細かく動かす技術も難しいようです。その音色と対照的なのが三味線の「ハリ」のある音です。こちらにも調音などが難しいようです。

ケアハウス豊田では毎月、行事、クラブ等で多くのボランティアさんに来て頂いています。今回は、一月の誕生会に来て頂いた、和琴の「羽衣の会」と三味線の「ゆき柳の会」に、ケアハウスでの慰問の感想をうかがいました。両会とも豊田市を中心に活動するグループです。

♪♪♪
FUNKY PARTY

た、楽器の一部に動物の皮が使われているため、「動物愛護」の面での苦労もあるとか。慰問では、「みなさん真剣に聞いていただき、手拍子をいただきうれしかったです。」との言葉を頂け、「次にくる時は水川きよしの曲でも」と、その歌手のファンが多い利用者の方を喜ばせてくださいました。

大切な一日に華やかさを添えてくださるボランティアさん、本当にありがとうございます。

編集後記

近ごろ、何かと活気がある愛知県。中部国際空港の開港、愛・地球博の開催、愛工大名電の選抜高校野球優勝等々...報道によると、愛知県は日本のみならず世界からも注目されているそうです。

一方、愛知県同胞援護会も、例年になく多くの新任職員が採用され活気に満ちあふれています。利用者の皆さんにこの活力が良い形でお届けできるよう職員一同頑張っています。

☆本誌へのご意見・ご感想等がございましたら、法人事務局（担当 高橋）までお気軽にご連絡ください。

TEL(0568)88-8302
FAX(0568)88-10306

E-mail douen@mc.ccnw.ne.jp